

# 設立趣旨書

2011年1月18日  
NPO 法人日本パークレンジャー協会  
設立代表者 武田 敏文

## 1 趣旨

現代社会は高度な情報化と人工化の時代であると言われています。このような社会では、次のような社会問題や環境の問題が起こっていることは衆知の事実となっています。

- ① 人と人との関係が希薄になって、孤独死やいじめ、子どもの虐待などの社会問題が起こっている。
- ② 人と自然の関係では、資源の浪費や自然環境の破壊が進んでおり、身の周りから自然環境が減少して人と自然がふれあう機会が減り、自然を正しく理解し、自然と正しい付き合い方を知らない人が増えている。
- ③ 自然の問題では、生物多様性の危機や温暖化による気候変動の問題があり、身近には放置された里山や手入れをされない森林が増え、景観を損なうばかりでなく、自然災害の危険や多くの動植物がその生息・生育場所を失って絶滅の危機にさらされている。

このような時代にあって、人が人らしくふれあい、人が自然とふれあって自然を正しく理解し、自然を大切にすることや、今私たちが直面している様々な環境問題への問題意識を持ち、その解決に向けて行動に参加する人づくりをすることが必要です。

この度設立する「NPO 法人日本パークレンジャー協会」は、大阪府民の森等の自然公園とその利用者をつなぐかけはしとして、環境教育や環境保全、自然保護、また自然体験活動の提供などの様々な自然にかかわる事業を通じて「自然の大切さを伝える」ことを目的とし、また自然を愛し、広く環境教育にかかわる活動を目指す人材を育成することを目的としています。

上記目的達成のため、NPO 法人日本パークレンジャー協会は特定非営利活動促進法に基づく法人格を取得し、社会的信用を高め世の中に貢献しようとするものです。

## 2 申請に至るまでの経過

財団法人大阪府みどり公社が主宰する自然に関わる催しの企画運営ボランティア組織「府民の森パークレンジャー」は、平成5年に約30名の若者によりスタートしました。

設立後10年を経過して、年齢制限を撤廃し50名の組織として再スタートし、平成22年現在には80名を越える組織となりました。この間、自主的な活動を目指して運営に取り組み、また平成19年からは研修チームを結成して新規パークレンジャーの育成指導体制をスタートさせ、パークレンジャー全体のスキルアップにも努めるなど、人材の育成に努めながら上記趣旨に基づいて幅広い活動を続けてきました。

平成22年5月21日に、特定非営利活動促進法に基づく法人格を取得することにより、更に現在の活動基盤を充実させ自主独立運営ができようにするため、法人化に向けた検討することに着手しました。その後、平成22年6月6日にパークレンジャー集会において法人化の趣旨を説明し、府民の森パークレンジャーを法人化することに賛同を得て協力スタッフ参加のお願いをすることとなり、同年7月号のパークレンジャー情報誌にこの旨を記載して周知を図り、同年7月20日までにレンジャー全員に協力要請をしました。

平成22年7月24日には法人化に向けた協力スタッフ約20名による意見交換会を実施し、準備に向けて設立委員会を発足しました。設立委員会では運営や役員体制などを検討し、事業活動計画や予算案等を作成しました。平成22年8月10日に設立総会を開催し、設立の運びとなりました。